



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：市川修次 副会長：唐澤 稔 幹事：宮下 健 公共イメージ向上委員長：加藤 篤

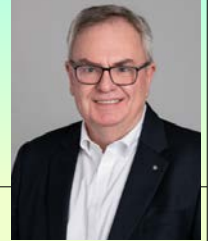


世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

2023-2024 RI会長
ゴードン R.
マッキナリー
＜スコットランド、
ウェストロージアン＞



第1674回例会 池田幸平ガバナー補佐事前訪問例会 令和5年10月3日(火)



■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 平澤理ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・ RI 第 2600 地区上伊那グループガバナー補佐 池田幸平 様
- ・ 支援留学生 ウアドゥワンディー パラミー 様
- ・ 支援留学生 メイ ガクゼイ 様

■ 会長談話 市川修次会長



今日は、池田ガバナー補佐をお迎えしての例会です。宜しくお願ひ致します。
今日 10 月 3 日は「登山の日」だそうです。10 と 3「トオ」と「サン」で登山という語呂合わせで 1992 年に制定されたそうです。

2014 年の 9 月 27 日、今から 9 年前に御嶽山の噴火があり、58 名の方が亡くなりました。未だに 5 名の方が行方不明という事で、私はそれまでも何回か登って、

御嶽山は他の山と違って登り始めてすぐに廻りの景色が見えまして、特に9月の終りには紅葉が非常に綺麗で登りやすい山という事で登っておりました。当時は登っていきますと御嶽山の登山道は一本道で非常に判りやすく遠くまで見通せるという事で、子供達が親と離れてもひとりで登る子供がおりまして、そういった子供達と話をしながら登るのも楽しみで、お菓子をあげたりとか「学校の話」を聞いたりとかして登っていましたので、ニュースを聴いた時には大勢の子供が登っていただろうと思って心配して見ていました。実は私もその日に孫を連れて登る予定をしていましたが、母親が危篤状態になりまして登るのを見合わせたものですから本当に驚きました。ちょうど噴火した時間帯には私達は亡くなった多くの人達がいた八丁たるみで昼を食べていたと思われるので他人事とは思えず見ていました。

平澤前会長の前でとても話が出来る事ではありませんが、西行法師という歌人の読んだ歌に、以前から私の頭の中に残っている歌で「何事のおはしますをばしらねどもかたじけなさに涙こぼるる」という和歌があります。伊勢神宮で読んだ歌との事ですが、勝手な解釈かもしれませんが「何かわからないけれども何か自分が自分を見守っていて助けてくれている、ありがたくて涙が出る」という意味かと思います。全く本当にその通りだと思っておまして、今までの事を振り返ってみますといろいろな場面で何か得体の判らない物が自分を守ってくれているなと思っておます。先日のロータリーのマレットゴルフの時も私は転んだのですが、その時に鉄の棒が地面に刺さっておりまして転んだ顔の直ぐ傍にありまして、まともであったなら無事ではなかったと今でも思っております。

今日は最初にも話をさせて頂きましたが、池田ガバナー補佐をお迎えしての例会です。今日は22日に「古着 de ワクチン」、ガバナーの訪問、分水ロータリーとの打合せ等、行事がいくつも予定されております。又、来年3月のIMの準備等も始まります。会員の皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

■ 慶 祝

10月誕生祝い

・中川博夫会員 ・兼子展世会員 ・小川秋實会員



■ ニコニコボックス

- ◆市川修次 ウアドウワンディー パラミーさん、メイ ガクゼイさん、本日はようこそ。池田ガバナー補佐、今日は宜しくお願い致します。
- ◆宮下健 池田ガバナー補佐、本日はご指導宜しくお願いいたします。セブンイレブン原さんに久しぶりに出席頂き嬉しい限りです。今後も出席が難しい方に積極的にアプローチをし、年に一回でも出席して頂くようお声掛けをさせていただきます。その折には、出席委員の皆様「ニコBOX」をしっかり頂いてください。
- ◆松田靖宏 ガバナー補佐池田様、パラミー様、メイ様、本日はお越しいただきありがとうございます。ガバナー補佐池田様には、ご挨拶とクラブ協議会、よろしくお願いいたします。
- ◆熊谷健 今日池田幸平ガバナーがご来訪ということで、大変ためになる話を期待しています。
- ◆井上修 母校・赤穂高校、上田西に敗れ北信越出場が叶いませんでしたが、ベスト4が全て私立。南信優勝の我が母校、21世紀枠の有力候補とか。
- ◆原誠 池田ガバナー補佐、おめでとうございます。私は3年か4年ぶりに例会に参加しました。池田ガバナー補佐、お体に気をつけて頑張ってください。

■ 幹事報告

宮下健幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・10月1日（日）会長エレクト・次期幹事研修の報告 熊谷健会長エレクト



去る10月1日（日）佐久市の佐久平交流センターにおいて「会長エレクト・次期幹事研修」が開催され、小椋文成次期幹事とともに参加致しましたので、その報告をさせていただきます。

プログラムは、会長・幹事の役割や今のうちにやっておかなければならないこと、2600地区の各グループや各クラブの運営状況等の説明があり、その後、2024～2025年度ガバナー（ガバナーエレクト）の挨拶がありました。

ガバナーエレクトは、佐久コスモスロータリークラブの白鳥敬日瑚（しらとりのりひこ）さんという方で、職業分類は電子機器設計マイクロストーン株式会社を経営している方です。

白鳥ガバナーエレクトから、2024～2025年度地区方針の発表がありました。2024～2025年度地区方針は「ロータリーは、あなたと私が出会うところ。そして、次の世代に何を渡せるか、共に考え行動しましょう。」というものです。

そして、RI方針と地区方針に従って、いくつかのキーワードが紹介されました。

1つは、メンタルヘルス（心の健康）に関する話です。特に小学生のメンタルヘルス。長野県は小学生の自殺率、不登校率が全国平均に比べて非常に高いという指摘がありました。そして、新型コロナウイルスによる一斉休校の影響により小学生の歩行バランス能力が低下しているという指摘もありました。

これらの現状を考え、ロータリーの重要な使命の一つとして、子供たちから「夢の実現」を託されているという前提のもと、白鳥年度では、平等な義務教育である小学生への奉仕、DEI（多様性、公正性、包括性）を重視した地区戦略奉仕事業として「夢の実現プロジェクト」事業を展開したいという話がありました。

具体的には、地区に「DEI委員会」「小学生奉仕プロジェクト」を新設、また地区青少年奉仕委員会の中に「小学生小委員会」を新設し、この事業を推進すること。そして、各グループ毎に、域内の小学校1校を選定し、「内外で活躍する著名人による講演会」や「歩行ケア」等のイベントを実施したい旨の提案がありました。

これらの提案が、どのように当クラブの事業に影響を及ぼすのかよく分かりませんが、我がクラブとしてできることとできないことをしっかり見極めて、今後の事業計画を立てていきたいと考えています。

なお、研修の後半は、各グループに分かれてグループディスカッションを行いました。因みに、上伊那グループのガバナー補佐は、駒ヶ根ロータリークラブの窪田雅則さんですので、報告します。

・「ロータリーの友」10月号紹介 唐澤千明ロータリー情報委員



10月号のロータリーの友の紹介をします。

横組み P7 10月号は若者の自立を促す支援のカタチとして、地域社会の経済発展において、若者は貴重な存在。しかし、保護者や行政などから適切な養育が受けられず、貧困に陥る若者がいます。児童養護施設を退所と同時に社会に放り出されることになる若者に必要な支援を提供し、自立を手助けすることは、まさに、地域社会の経済発展にとっても重要なことです。

P8 STEP 1. 就労に困難を抱えるなど、社会的養護が必要な若者たちの現状はどうなっているのでしょうか。

多くの企業で人手不足がますます深刻化しています。それにもかかわらず、2人に1人の割合で貧困状態に陥っている若者たちが存在しています。児童養護施設の出身者です。

日本全体の要保護児童数は4万5,000人を超えても言われています。施設に入る子どもの背景は、昔は親の死亡や行方不明が多かったのですが、今は虐待による保護が圧倒的に増えてきており、全体の約半数を占めています。

P10 STEP 2. 頼る大人もいないまま一人で社会に出ていかなければならない児童養護施設を卒業した若者たち。当事者の生の声に耳を傾けましょう。

ライターでお尻をあぶられた子ども時代から、今は自分が支援する側に立っているとしています。

P13 STEP 3. 社会的養護が必要な若者たちを、クラブとして、企業として支援するロータリー会員。私たちにできる事を考えてみましょう。地域の子どもの未来を共に夢見るとして、子どもたちそれぞれの「やりたい」に寄り添うプロジェクトも実施。「大工さんになりたい女の子」がいれば、ロータリアンのついで、女性大工の話と一緒に聞きに行つて、実際の仕事を体験してもらいました。

P14 全ての若者に多様な雇用の選択肢を

施設卒業者に限った話ではありませんが、10代で就職する若者たちは限られた期間・狭い世界観の中で就職先を選ばなければなりません。多様な仕事が彼らの選択肢になり少しでも就職のミスマッチを減らせるようにしていくことが、その後の安定した人生に繋がるのではないのでしょうか。

P15 米山月間

米山学友世界大会「再会 in 関東」が8月5日に茨城県つくば市で盛大に開かれた。実に世界38の国と地域から学友が集いました。

米山学友会の存在意義とは「居場所」「家族」「恩返しの間」と答えていました。「これほど感謝・恩返しという言葉に耳にする機会は他にはない。米山が積み上げてきた歴史を改めて感じた。」と語り、事業の意義を再確認できる時間となりました。

縦組み P4 企業による障害者雇用の取り組み。

ビーアシスト(株)人材開発部長の深水清志氏が述べています。すでに障害者雇用に取り組まれている企業も沢山ありますが、今回は、初めてあるいはこれから取り組もうとされている皆様向けのお話です。

当社は現在「特例子会社」として、障害者を中心に雇用しています。「特例子会社」とは、障害者雇用促進のために設立する、障害者雇用に特化・配慮した子会社のことです。雇用はどこから、何からスタートすればいいか書かれています。

障害がある人はかわいそう、だから雇用もお手伝いしましょう。などと言う次元で考えてほしくないことも強調したい。障害者雇用は自分たちのためでもあると強く感じております。私たちがいつ病気やケガで障害者になるか分かりません。

最後に、障害者雇用とは今や特別なことではありません。企業活動を続けていくために当り前に取り組んでいくことになっています。障害者雇用、あるいは配慮が必要な方の雇用戦力化について、私は今後も携わっていきたく強く思っています。

■ 出席報告 会員数44名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者20名 事前メイク4名
出席率63.16% 前回出席率 修正なし

■ ガバナー補佐ご挨拶

・RI第2600地区上伊那グループガバナー補佐 池田幸平 様



今日は我がクラブへの事前訪問ですのでリラックスしてお話が出来ます。おかげ様で上伊那グループは一丸となって、ポリオ根絶活動の一環として「古着deワクチン」のイベントを開催する運びとなりました。これもひとえに会長、幹事、財団委員長を始め皆様のおかげと感謝いたします。

いろいろとお世話になりますが、一年間よろしくお願い致します。

ゴードン・マッキナリーRI会長は「世界に希望を生み出そう」をテーマとしポリオ根絶の実現に向けた取り組みや、メンタルヘルスを支援するためのプロジェクトを優先的に行ってゆくとし、これまでの取り組みを継続し前進させることの重要性を強調しました。

それを受けて折井正明ガバナーは「手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう」をスローガンにロータリー行動計画を、ポリオ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現することを地区の方針としました。ポリオ根絶に向かって手を取り合い共に行動することの喜びを実感し、そのことを世の中に発信することが大切だと考えたからです。まさに今回の取り組みはそれに当てはまるものだと思います。今月22日のポリオデーには是非よろしくお願い致します。

今日は事前訪問と言うことで、ガバナーの紹介とその方針についてスライドを見て頂きながらお話させていただきます。





【第2600地区標語】

Let's send out the joy of Rotary in action, hand in hand!

手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう！

【第2600地区の基本方針】

ロータリー行動計画をポリオ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現する

1. 「より大きなインパクトをもたらす」
2. 「参加者の基盤を広げる」
3. 「参加者の積極的なかわりを促す」
4. 「適応力を高める」

■ 点 鐘

13 : 30

次回例会

10月10日（火） 点鐘 / 12:30 場所 / 海老屋料理店

- ・新会員入会式
- ・クラブフォーラム「米山記念奨学委員会」米山奨学生卓話・米山委員長卓話